

■施策評価シート 14-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-①	施策名	自然環境の保全	

<p>施策の概要</p> <p>自然と私たちの生活・社会活動とが密接に関係していることを理解し、身近な自然に関心を持つ機会を設け、地域の自然環境を保全・創出する活動を市民・地域・事業者等と連携して進めます。</p>

成果指標(単位)	「いきもの自然学校」受講者数(名)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0	40	50	60
実績値	0	0	60	64	45

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>総合的に環境が学べるモデル地域2学区(志津・笠縫東)において、専門家、地域、団体等との協働により、環境学習プログラムを実施した。志津学区の受講者は47人の内新規受講者24人、笠縫東学区は21人全員が新規受講者であった。目標値を達成することはできなかったものの、リピーターの参加者も徐々に増加し、地域の自然環境を保護や保全に関わる人材の育成につなげることができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>第3次草津市環境基本計画に基づき各種事業を推進した結果、重点事業1「いきもの自然学校」に関する取組については、モデル地域と協議を行い、専門家の意見を取り入れ、事業の推進に関わる人材育成や、モデル地域の利活用を図るための環境学習プログラムを実施するなど一定の効果がみられた。また、自然環境保全地区(2地区)において危険木を除去するなど、地域の自然環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全につながる事業を目指し、まちづくり協議会等の関係機関と連携を強めながら、事業内容の充実を図る。また、事業について市ホームページ等で発信し、周知を行う。自然環境保全地区については、各地区の管理者等に対し補助を行うことにより危険木除去などを実施し、自然環境等に親しむことができる場と機会の提供を推進する。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	「いきもの自然学校」や自然環境保全地区危険木除去等事業を実施した結果、市民の自然に対する関心を深めるとともに、地域の自然環境を保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営事務	環境政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-②	施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進

<p>施策の概要</p> <p>事業所等への適切な指導・啓発をはじめ、河川の水質調査など環境調査の継続実施を行います。</p>

成果指標(単位)	河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/調査回数)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	20/24	24/24	24/24	24/24
実績値	18/24	20/24	17/24	21/24	17/24

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市内2河川にて24回の水質調査を行った結果、狼川で7回の基準超過があり、目標値には達しなかった。基準超過の原因を究明するため、上流での追加調査や流域の事業所の排水調査を重点的に実施したが、発生源の特定には至らなかった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>河川の水質調査については、調査の結果、狼川で12回の測定のうち7回が環境管理基準を超過したため、継続して河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めた。事業所等指導については、水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭等の環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や、従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>河川の水質調査など環境調査を継続するとともに、狼川流域の河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努め、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を実施していく。また、引き続き環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施していく。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
事業所等指導事業	環境政策課	○	環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った結果、環境汚染等の未然防止が図れたため。
環境調査事業	環境政策課	○	継続して河川調査などの環境調査を実施した結果、市内の環境の状況を適切に把握し、良好な環境の維持管理につなげることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-③	施策名	環境学習の拡充

施策の概要

市民・地域・事業者等と連携のもと、市内に点在する自然、文化、食、歴史など地域資源を活用した体験型の環境学習・環境保全活動を推進し、主体的に活動する環境まちづくりを進めるとともに、環境活動に取り組む団体等の活動支援や活動する人材の発掘・育成を行います。また、環境に関する情報発信や環境への関心が深まるイベント、啓発活動を行います。

成果指標(単位)	こども環境会議参加団体数(団体)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	68	70	72	74
実績値	0	46	52	52	61

成果指標実績に対するコメント

こども環境会議参加団体数は61団体と目標値に達することができなかったが、主体を問わず幅広く参加を呼びかけることにより、令和5年度と比較して9団体増加させることができた。さらに、こども環境会議での壁新聞や展示物をくさつエコスタイルプラザ、イオンモールで展示を行うとともに、YouTube「くさつチャンネル」等で発信することにより、環境学習活動の啓発を行うことができた。

施策の達成度評価

第3次草津市環境基本計画に基づき、環境について学び行動できる地域社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施した。こども環境会議は、主体を問わず幅広く参加を呼びかけることにより、令和5年度と比較して参加団体を増加させることができ、市民の環境への関心をより深めることができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議は、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学など多種多様な主体による参画が図れるよう参加の呼びかけを行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境政策課	○	こども環境会議などの環境に関するイベントの開催や、環境学習のための教材貸出・講師派遣を実施した結果、市民の環境への関心を深め、環境学習を推進することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-①	施策名	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	

<p>施策の概要</p> <p>脱炭素社会への転換に向けた取組を支援するため、愛する地球のために約束する協定をはじめ、様々な主体が自主的に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、自主的な取組を促す情報提供やネットワークの拡充を図ります。</p>

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	77	79	81	83
実績値	75	76	78	78	77

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は、「愛する地球のために約束する協定」の協定会員2者を含む4者の入会があったが、5者の協定会員が実質的に活動していないことなどを理由に退会されたため、全体としては1者減となり、目標値には届かなかった。令和6年度は協議会設立15周年記念誌を制作するなど協議会活動のアピールも行ったが、入会実績には繋がらなかったと考える。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>協議会活動を対外的にアピールするだけでなく、会員自身が、研修や情報交換で脱炭素経営や事業活動に繋がるメリットが得られるよう、活動内容を充実させる必要がある。また、特に協定会員に対しては、公的支援により脱炭素取組を後押しすることも肝要である。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>令和7年度より開始した改訂版草津市地球温暖化対策実行計画区域施策編(第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト)では、協定会員等の施設を再エネ促進区域とすることで、市・県等の脱炭素補助金が受けられたり優遇されたりする仕組みとしたことから、これを契機に、協定会員を中心とした脱炭素取組の活性化を促し、協議会活動のアピールと会員ネットワークの充実を図る。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	温暖化対策室	○	協議会の目的である「実行計画区域施策編を推進する」ため、啓発や研修などの活動を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-②	施策名	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進	

<p>施策の概要</p> <p>省エネルギー機器の導入・更新や再生可能エネルギーの利用促進を図るため、イベント・フォーラム・展示会等の開催や導入事例等も含めて様々な情報提供を行います。</p>

成果指標(単位)	カーボンニュートラルに向けたイベント等における啓発者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	630	690	750	810
実績値	568	520	2,299	4,079	1,915

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>目標値を上回る実績値となった。新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント・フォーラム・展示会などの開催がオンライン開催もしくは縮小、中止される社会情勢が当面継続することを想定し目標設定を行ったが、令和4年度以降はウイズコロナにより各種イベントへ等への来場者数が増えたほか、草津市地球温暖化対策実行計画区域施策編に基づき開催する「地球冷やしたいセミナー」の回数を増やした成果などが表れたものとする。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>市が主催する地球温暖化対策をテーマとする大型商業施設での啓発イベント「地球冷やしたい推進フェア」は、令和5年度より2日間開催から1日開催へ変更したが、令和6年度は市制施行70周年記念事業としてトークショーを開催したため令和5年度より参加人数が増加した。一方、令和6年度は計画改訂作業に伴い市主催のセミナーの一部や市以外が主催のイベントでの啓発回数を精査したため、全体的な啓発者数は令和4、5年度より減少した。新たな啓発の方向性の検討が必要である。</p>

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>令和7年度より開始した改訂版草津市地球温暖化対策実行計画区域施策編に基づき、「健幸エコハウス」など新たなテーマでもセミナーやイベント等を開催し、カーボンニュートラル実現に向けて市民・事業者への啓発を図る。また、計画開始にあわせて太陽光発電導入などに係る補助事業を開始することから、補助事業説明会や、補助要件となる「省エネ診断」「うちエコ診断」の際に、省エネ対策や再エネの利活用を促していく。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	温暖化対策室	○	省エネルギーや再生可能エネルギー等に関して、イベント等で情報提供を行ったため。
広報啓発活動事業	温暖化対策室	○	イベント等でのカーボンニュートラルに向けた啓発を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域脱炭素事業	温暖化対策室

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-①	施策名	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進

<p>施策の概要</p> <p>資源循環型社会の構築のため、発生抑制、再使用によるごみ発生量の削減と資源化による最終処分量の削減の取組を進めます。</p>

成果指標(単位)	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)(g/人・日)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	553.5	546.2	534.4	519.2
実績値	557.4	542.8	515.4	490.6	479.1

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>人口は148,413人と前年度比で762人増加しているものの、これまでの継続したごみの減量や分別に関する啓発等の取組により、令和6年度の家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)についても25,956tと前年度比で555tの削減となり、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)が目標値の519.2g/人・日に対して実績が479.1g/人・日と目標を達成することができた。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>計画に基づき各種事業を推進した結果、家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)は、前年度の26,510tに対して25,956tと555tの削減となり、資源化率は前年度17.9%に対し17.8%となった。最終処分量は前年度3,892tから3,791tと101t削減することができた。今後も循環型社会の構築に向けて引き続きごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。</p>

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課	○	生ごみ処理容器の購入に係る補助や資源回収活動の奨励、事業系ごみの減量指導等により、ごみの減量を推進することができたため。
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課	○	分別アプリの普及推進や分別ブックの発行等、ごみの分別を周知啓発することにより、ごみの資源化を推進することができたため。
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	資源循環推進課	○	ごみ問題を考える草津市民会議と連携して、エコライフフェアの開催や広報誌「ごみジャーナル」の刊行等により、3Rを啓発することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-②	施策名	ごみの適正処理

<p>施策の概要</p> <p>効率的な収集とクリーンセンターの適正な運転管理を行います。</p>

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果(ng-TEQ/Nm ³)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		0.1	0.1	0.1	0.1
実績値	0.0012	0.00010	0.00013	0.00072	0.00016

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm³も満たすことができた。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、クリーンセンターについては、これまでどおり適正な運転管理に努めた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めるとともに、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値(1ng-TEQ/Nm³)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境を保全することができたため。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-③	施策名	環境美化の推進

<p>施策の概要</p> <p>ごみの不法投棄防止のための定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が協力・連携し環境美化に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率:不法投棄ごみ量/ごみ発生量(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02
実績値	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>不法投棄ごみ率は変化していないものの、クリーンセンターに搬入された不法投棄ごみ量は減少しており、定期的なパトロールによる監視活動や町内会によるボランティア清掃活動など、市民・地域・事業者との連携による取組の結果、生活環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>不法投棄の発生が懸念される場所について定期的なパトロールを行うとともに、町内会等への不法投棄禁止看板やボランティア清掃用のごみ袋の交付など、不法投棄の未然防止や投棄物の回収に努めたことで、生活環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>パトロールによる監視や監視カメラの有効活用など、不法投棄対策に引き続き取り組む。また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	定期的なパトロールによる監視やボランティア団体との協働による不法投棄物の回収等によって、生活環境の保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。